



市政の ここが聞きたい!!

一般
質問

一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく市政全般について市の方針をただすものです。なお、掲載文は質問議員本人の原稿によるもので、各議員の質問と当局の答弁の要旨は次のとおりです。



小野田 由紀子 議員

平成28年度予算編成に
対する要望書の考えについて

地域見守りネットワークの
構築・体制強化について

進捗状況と今後の取り組み
について問う。

問 「見守りネットワーク委員会」を立ち上げ、関係各機関相互に課題の共通認識と理解を深め、今年8月1日から、SOSメール配信システムの運用を開始している。愛知県の認知症高齢者徘徊広域SOSネットワークと連携してまいりたい。

小中学校における
がん教育の充実を

問 小中学校におけるがん教育の現況と今後の取り組みは。
答 今後は、特に中学校で外部講師の確保を検討し「がん教育出前講座」の利用や文部科学省が平成28年度に予定している、

がん教育教材の活用も充実する。

「認知症カフェ」の
開設について

問 認知症の方の家族支援や居場所となる認知症カフェの開設について問う。

答 高浜市社会福祉協議会が田戸町で建設している、認知症グループホームの中で検討されています。地域共生型福祉施設のうち、一部のスペースを活用し、1週間のうち2日間を宅老所として、1日を認知症カフェとして活用することを考えておみえです。

避難行動
要援護者支援システムを
活用した高齢者、要援護者の
避難体制の整備について

問 地域福祉グループにおいて推進されていますが、進捗状況と今後の取り組みは。

答 本年度はモデル地区として高浜まちづくり協議会において「避難行動要援護者対策実行委員会」を立ち上げ、具体的な取組方法を決定し、本年度末には個別計画の策定が完了する。来年度に残りの4小学校区で、個別計画の策定に取り組んでいきます。

生涯現役の
まちづくりについて



神谷 直子 議員

問 健康自生地はいくつありますか。

答 体を動かす、仲間をつくる、趣味を生かす、食事や買い物を楽しむ等、合わせて78カ所です。

問 何人利用がありますか。

答 500名を超える方々です。

問 国立長寿医療研究センターとの共同開発「脳とからだの健康チェック」の取り組みとは。

答 チェックを受けた方に専用歩行計を渡し、健康自生地を読み取りをします。そのデータをもとに普段の運動量、どのような活動が要介護や認知症の発症を軽減できるかを分析します。

問 今後の課題は。

答 どの地区にも健康自生地を増やし、男性の居場所として、担い手側に回っていただけのように企画できるように工夫したとして増やしていきます。